

持続可能な新たな工業団地に

今年度は6議案を審議



第58期通常総会

令和6年6月12日

第58期通常総会を開催

神奈川県内陸工業団地協同組合（組合企業数105社）の第58期通常総会が6月12日、団地会館大会議室で開かれた。総会には出席者79人で法定数を満たし、厚木瓦斯株式会社の山田浩之取締役が議長に選出された。今回の総会では、①令和5年度事業報告並びに決算報告承認の件②令和6年度事業計画並びに予算承認の件③経費の賦課及び徴収の方法決定の件④借入金最高限度額決定の件⑤役員報酬決定の件⑥役員変更の件の6議案が上程され、全て承認された。

【各委員会の活動方針】
 《総務委員会》 財務収支状況を勘案した健全な組合運営の立案、実施に努める。
 《環境委員会》 グリーンベルトの維持管理及び再整備の実施。
 《安全衛生委員会》 危険予知訓練、職長教育などの研修会をし、安全衛生自主パトロールにより情報等の共有を図る。
 《交通委員会・防災》 行政機関と連携し諸問題解決に向けた活動や共同防災訓練を実施。
 《特別委員会》 団地の付加価値向上のため多角的な検討を進める。などの活動方針を事業計画に含め承認された。

だんち



だより

第102号

2024年(令和6年)8月1日発行



駐車場の整備が完成し、会館の建替え事業が完了しました

通常総会あいさつ

理事長 歳原博幸

組合員企業関係者の皆様は1000億円を超えるさまにおかれましては、資本が投下されたと推測されます。ご清祥のこととしております。

お慶び申し上げます。これは、圏央道の開通に、平素より組合活動にを始めとする交通基盤整備ご理解ご協力をいただき、備が進んだ事と、当組合厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスと調和した緑豊かな資源ルースが発生してから丸4年以上が経過しました。この未曾有な課題に世界に上を努めてきた成果では全体で取り組んでいる間、ないかと考えています。に、他の様々な課題が次々、今後におきましては、から次へと湧き出し、世間、円安や地政学リスクによる原材・石油価格の高騰、価格転嫁の問題、大企業との賃金格差の是正やデジタル体質からの脱却など、様々な課題に取り組み、製造業と物流業が共存する新たな工業団地駐車場の整備、団地内では、工場建て替え・事務まいりますので、組合所棟の新設、そして数々、関係各位の皆さまの物流施設の新設です。ご理解と協力をお願いいたします。



事務局より

我が国の経済は、高水準の賃上げや高い投資意欲などから、新たなステージを迎えています。しかしながら、物価上昇による実質賃金の低下など、個人消費が進まない課題があります。

一方、国際的には、地政学的対立による規制が強まり、合理性に基づく既存のサプライチェーンの脆弱性が顕在化し、さらに、原油価格高騰による経営圧迫など、不透明感が拭えません。

当工業団地は、圏央道など交通インフラの優位性から、大型物流施設の進出が継続し、交通量の増加による周辺道路の渋滞や団地内道路の待機車両駐車など、引続き課題となっております。様々な課題に積極的に対応し、事務局一同、組合の発展と組合員企業の皆さまのご繁栄のため、努力を続けますのでどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 内陸工業団地軟式野球大会

当組合恒例の軟式野球大会が6月9日から7月21日にかけて開催されました。白熱した試合の結果、今年度の優勝・準優勝が決定いたしました。



岩井機械工業株式会社

Aクラス

【優勝】岩井機械工業株式会社 【準優勝】株式会社トーモク

Bクラス

【優勝】ダイアボンド工業株式会社 【準優勝】西濃運輸株式会社



株式会社トーモク

個人賞

Aクラス

【最優秀選手賞】小川 晴輝(岩井機械工業)
 【敢闘賞】林崎 翔太(トーモク)

Bクラス

【最優秀選手賞】野口 悟(ダイアボンド工業)
 【敢闘賞】吉田 有佑(西濃運輸)



ダイアボンド工業株式会社



西濃運輸株式会社